

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	社会福祉法人プラナの森 はるにれ園				公表日	令和 8年 3月 9日	
	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・利用人数や年齢等により活動や場所を分けて安全確保等している。	引き続き、適切なスペースを確保しながら活動を進める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・手薄に感じる時間帯もあるが、臨機応変に対応している。 ・ミーティングで当日の職員の配置を決めている。	引き続き、お子さんが安心して活動に入れるよう職員配置を検討していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	・カードを使用し、視覚的に提示している。	バリアフリーに適應できていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・椅子とテーブルの高さなどお子さんに合ったものを使用している。 ・毎朝清掃を行っている。	引き続き、こまめな清掃や整理整頓を心がけ、心地よい環境を保つ。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別の活動や場所の提供をし、安心して過ごせるよう配慮している。	引き続き、お子さんが安心して過ごせるよう必要に応じて対応していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・会議やミーティングを密にすることで、日々の業務改善に取り組んでいる。	今後も、PDCAサイクルを意識し、業務改善を行っていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者の意見を受け止め、業務改善に努めている。	保護者の声を大切に検討を重ねていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員面談を実施している。 ・ミーティングや会議、園内研修において情報共有する場を設け、改善に繋げている。	引き続き、各々の意見を尊重し合いながら、業務改善に繋げていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	・監事による事業所見学を行っている。	評価機関への依頼も検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・各職員が研修に参加する機会がある。法人内でも研修を行い、スキルアップを図ることができている。	今後も研修会に参加しスキルアップを図る。研修後の報告をし、職員周知をしていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	・支援プログラムの作成を行っている。	作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・利用開始時に、お子さんの様子をアセスメントし、個別支援計画を作成している。	今後も、お子さんや保護者の方のニーズに耳を傾け、支援計画を作成していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・必要な支援を全職員で話し合い、支援計画の作成を行っている。	引き続き、全職員で共通理解を図り支援計画の作成を行っていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・すぐ確認できるよう療育記録に記載し、目標を意識して療育を進めている。	引き続き、全職員で支援内容を共有し療育を行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・医療機関での検査結果なども参考にしている。	引き続き、病院からいただいた書類や独自のアセスメントツールを使用し、現状把握に務めていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・個々の支援計画に支援内容を取り入れ、具体的に記載している。	それぞれのお子さんに合った支援内容を取り入れ、具体的な支援内容を記載していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	・チームで行っている。	職員間で検討を重ね、より良い活動内容を目指す。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	・担当を固定化しないように努めている。 ・静と動のメリハリのある内容を取り入れている。	変化に弱いお子さんもある為、安心して過ごせる環境を目指していく。 外出等も取り入れていく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・お子さんの状況に応じて個別での対応や自立課題、対面課題を取り入れて支援している。	引き続き、個々のお子さんに合わせて個別活動と集団活動を取り入れていく。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎日必ずミーティングを行い、確認を行っている。	引き続き、事前ミーティングを行い、共通理解に努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	・支援開始前にミーティングを行い振り返りや確認を行っている。 ・気付いた点があった際は都度伝え合い、共有している。	今後も継続し、より良い支援へとつなげていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・療育の内容、連絡ノートの内容、保護者の方と話したことなど、個々の記録に残している。	引き続き、個々の記録を徹底し、必要に応じて検証、改善をしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年ごとにモニタリングを実施し、保護者からお話を伺い、必要に応じて見直し等を行っている。	引き続き、定期的なモニタリングを実施していく。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・職員全体で資料作成を行い、担当職員が会議に臨んでいる。	今後も、積極的に会議に参加していく。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・協力医療機関の設定をしている。	受け入れる際には、連携を密にする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・担当者会議の際に参加している。 ・情報の共有をし、お子さんの共通理解を図っている。	今後も、担当者会議に積極的に参加していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・担当者会議で引継ぎを行っている。 ・必要に応じて書類作成を行っている。	今後も、担当者会議に積極的に参加していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	86%	14%	・担当者会議などを通して、アドバイスを受ける機会を設けている。 ・保護者さんを通じて医師などからのアドバイスをもらっている。	引き続き、連携を図っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・同法人のこども園と交流している。 ・こども園を利用しているお子さんがほとんどなので、交流できている。	今後も交流できる機会を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・連絡ノートや送迎時に直接保護者の方と話すことで、共通理解を図っている。 ・必要に応じて面談を行っている。	引き続き、連絡ノートや送迎時の時間を活用するとともに、定期的な面談も設けていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・研修等の情報提供を行っている。 ・保護者同士の交流の場や情報交換の場を設けている。	保護者会等で講師の方に来ていただきペアレントトレーニング等の機会を設けていく。
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	14%	・契約時に行っている。	必要に応じて説明する機会を設けながら寄り添った支援を目指す。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者からの聞き取りや、お子さんの様子から意向を汲み取り、計画を作成している。	引き続き、保護者の方やお子さんの意思を尊重した計画の作成を心がけていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・児発管が行っている。	今後も引き続き行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・こちらからもお声掛けし、必要に応じて事業所内相談の時間を設けている。	引き続き、定期的な面談を設けていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・親子行事や保護者会を開催し、保護者の方やきょうだいの交流の機会を設けている。	保護者の方同士が交流できる機会や、きょうだい同士で交流する機会を増やせるよう行事計画を作成している。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・保護者のお話を大切に、関わりを設けていく。また、事業所内相談の実施に努めた。	今後も相談や要望を聞き、適切に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・おたより発行、玄関写真の掲示、ブログ更新をし、園の様子をお伝えしている。	引き続き、HPやSNSを活用し、定期的な情報発信に努める。内容の充実も図っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・鍵のかかるキャビネットにて保管、管理している。	引き続き、取扱いに十分に注意を払っていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・口頭だけでなく、連絡メールを活用し、各家庭に合わせた対応を心がけている。	引き続き、各々に合わせた情報伝達を行っていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・夏祭りに近所の方を招待している。 ・年末、近隣住宅に挨拶回りをしている。 ・お子さんと一緒に招待状配りや挨拶回りをしている。	今後も周知活動を強化し、地域住民との交流を図る。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・緊急時対応マニュアル等を掲載することで、全職員の周知へと繋げていく。	引き続き周知し、訓練を実施していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・BCP研修を行った。	今後も、必要に応じ訓練等を行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・アセスメントシートに、服薬等について記入していただいている。 ・家庭でけいれんの症状が出た際には、随時お知らせいただき、情報共有している。	家庭との情報共有を密にし、必要に応じて対応していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	・アセスメントシートに記入していただき、尚且つ、検査結果を提出していただいている。	必要に応じて専門家の意見も取り入れ、対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・お子さんも理解ができるよう視覚提示を取り入れながら計画を作成し定期的の実施している。	引き続き、定期的な訓練に取り組み、安全に努めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・避難訓練や安全指導について年間計画等で周知している。	引き続き周知し、家庭との連携を図っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハットがあった際に、すぐに職員間で共有し、再発防止に努めている。	今後も職員間で共有し、事故防止に努めていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待防止研修に参加し、全職員へ周知している。	今後も、全職員対象として研修を受けていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	71%	29%	・計画書に記載している。	引き続き、身体拘束となることがないよう職員間で意識を高め、法人内での決定に従う。